



人口問題について考えよう

◎記事から読み取ろう

○人口動態調査についてまとめよう

・国内の日本人は \_\_\_\_\_人  
(2019年 月 1日時点)

・前年から \_\_\_\_\_人減少

・減少は、 \_\_\_\_\_年連続

・減少の原因は \_\_\_\_\_

ため

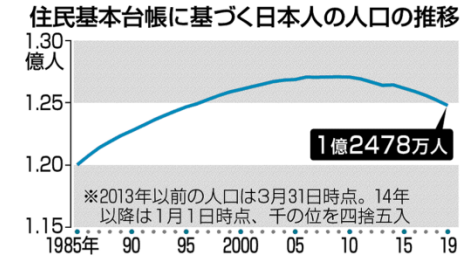
2019年 住民基本台帳に基づく日本人の人口 ※前年比、▲はマイナス、1月1日時点

都道府県	人口	増減数	増減率(%)
北海道	5,268,352	▲39,461	▲0.74
青森	1,287,029	▲16,639	▲1.28
岩手	1,243,012	▲14,767	▲1.17
宮城	2,281,915	▲10,066	▲0.44
秋田	996,292	▲15,005	▲1.48
山形	1,088,125	▲12,213	▲1.11
福島	1,887,006	▲19,890	▲1.04
茨城	2,871,183	▲17,986	▲0.62
栃木	1,935,463	▲11,432	▲0.59
群馬	1,924,605	▲12,471	▲0.64
千葉	7,200,193	1,364	0.02
東京	6,157,685	2,044	0.03
神奈川	13,189,049	73,205	0.56
新潟	8,976,954	4,184	0.05
富山	2,242,517	▲23,213	▲1.02
山梨	1,045,031	▲7,837	▲0.74
石川	1,130,737	▲6,058	▲0.53
福井	771,847	▲5,483	▲0.71
山梨	817,065	▲6,668	▲0.81
長野	2,066,413	▲14,762	▲0.71
岐阜	1,990,598	▲14,583	▲0.73
静岡	3,637,196	▲23,144	▲0.63
愛知	7,311,801	▲4,719	▲0.06
三重	1,773,994	▲12,604	▲0.71
滋賀	1,390,806	▲2,282	▲0.16
京都	2,494,923	▲11,278	▲0.45
大阪	8,613,021	▲18,154	▲0.21
兵庫	5,462,316	▲23,336	▲0.43
奈良	1,350,265	▲9,670	▲0.71
和歌山	958,055	▲10,693	▲1.10
鳥取	561,445	▲5,050	▲0.89
島根	677,251	▲6,285	▲0.92
岡山	1,883,926	▲11,099	▲0.59
広島	2,787,086	▲13,444	▲0.48
山口	1,366,822	▲13,968	▲1.01
徳島	744,521	▲7,298	▲0.97
香川	974,869	▲6,804	▲0.69
愛媛	1,369,853	▲12,895	▲0.93
高松	713,006	▲8,026	▲1.11
福岡	5,055,178	▲4,559	▲0.09
佐賀	822,443	▲5,163	▲0.62
長崎	1,355,223	▲13,923	▲1.02
熊本	1,764,768	▲11,005	▲0.62
大分	1,147,448	▲9,834	▲0.85
宮崎	1,097,293	▲9,016	▲0.81
鹿児島	1,633,098	▲13,817	▲0.84
沖縄	1,458,686	2,564	0.18
全国計	124,776,364	▲433,239	▲0.35

# 人口43万人減過去最大

## 1億2477万人 少子化進み10年連続

総務省が10日発表した住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、今年1月1日時点の国内の日本人は1億2477万6364人



で、前年から過去最大の43万3239人減少した。マインスは10年連続。昨年1年間の出生数が最少だったのが大きく影響した。都道府県別で伸びたのは東京圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）と沖縄のみ。外国人は16万9543人増の266万7199人だった。

2面に連続記事

人口が減る中、居住地が東京圏に偏る構図で、少子化対策と一極集中の是正が求められる。名古屋圏（岐阜、愛知、三重）と関西圏（京都、大阪、兵庫、奈良）の落ち込みが大きく、三大都市圏全体の日本人は初めてマイナスに転じ、645万2799人だった。

2018年に生まれた日本人は92万1千人で、3年連続の100万人割れ。死者数は6年連続増の136万3564人だった。人口に占める65歳以上の割合は0.40増の28.06%、働き手となる15〜64歳は0.28減の59.49%となり、高齢化に拍車がかかった。人口が減った42道府県で最大は、北海道の3万9461人。兵庫、新潟が続いた。減少率は1.48%の秋田が最も高く、以下は青森

岩手。東京圏は人口流入の影響が大きく、8万7977人増。2564人増えた沖縄は全国で唯一、出生数が死者数を上回った。

外国人は全都道府県で増えた。企業が外国人材に頼ったことなどが要因。増加数が多いのは都市部で、トップは東京の3万1811人。愛知、神奈川が続いた。外国人を含めた総人口は、26万3696人減の1億2744万3563人。

(佐賀新聞 2019.7.11付)

◎自分の考えをまとめよう

\*友だちと意見交換したり、家族と話し合ったりしよう

○佐賀県内の日本人は、 \_\_\_\_\_人減の \_\_\_\_\_人である。

佐賀県内の外国人は、 \_\_\_\_\_人、 \_\_\_\_\_世帯である。

\*このような佐賀県の人口状況について、何が課題で今後どのような対応が必要だと思いますか。